

授業づくり研修会

【中学校 国語科】

「徳島版読解力」・
「全国学力・学習状況調査」について

令和6年度からは、

すべての教科等にわたる
「徳島版読解力」を活かした
学力向上のポイント

に取り組みます。

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し

導入（個別学習）

- A 情報を正確に捉える
- B 読み取り、考えたことを書き表す

展開（協働学習）

- C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ
- D 交流を生かして考えを表現する

振り返り（個別学習）

- E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

〔授業外〕

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

徳島県教育委員会

これまで、

国語力向上タスクフォースの提案の各教科等の授業への活用の推進と状況の把握

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善のポイント

(国語力向上タスクフォースの提案から)

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

本県の児童生徒に身に付けさせたい力 ～全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて～

- 文章の中心的内容と付随的な部分、即座に理解し、まとめる部分などを読み分けて要約を促したり、問いの趣旨やその解決に必要な情報を正しく理解したりする力。
- 目的に応じて必要な情報を集めるための見出しや目次、索引などを読み、必要な部分を読み取り、必要な部分を読み分ける力。
- 相手の意図を捉えながら自分の考えを明確に、その考えを深めるために、場に応じた適切な言葉遣いで話し、聞き取りながら、互いに伝え合う力。

正確に読み取らせるためには！！ —教科書の内容や読者の意図、グラフ等が示す意味などの読み取り—

何が書かれているかを的確に捉えさせよう！

- アンダーライン
- 丸や四角での囲み
- 図や表
- など

- 重要な部分、即座に理解し、まとめる部分などを、読み分ける。
- 主語と述語や、指示語、修飾語などに注目して、読み取らせる。
- 組み立てや、相互関係を整理して、まとめる。

主体的・対話的で深い学びの視点からは！！

自分の思いや考えを「書く」場面を増やそう！

- メモ
- 付箋
- ホワイトボード
- など

- 箇条書きで整理させる。
- 思いをついたことを、たくさん書き留めさせる。
- 書き足したり、削ったりして推敲させる。

自分の思いや考えを深めるために相手の意見を取り入れる場面を増やそう！

- スピーチ
- ペア学習での意見交換
- グループでの話し合い
- 討論
- ポスターセッション
- など

- 出し合う交流活動→様々な資料から情報を出し合わせる。
- 比べ合う交流活動→考え方を比較したり参考にし合わせる。
- 高め合う交流活動→根拠を明確にして意見を述べ合ったり、整理し合わせる。
- 磨き合う交流活動→磨いた知識や技能を活用させる。

学んだことを振り返る場面の工夫をしよう！

- ノート
- ワークシート
- 振り返りシート
- など

- 課題の答えを確認させ、自分の考えをまとめる。
- 課題を解決した達成感と、次の課題達成をもたせる。
- 振り返りだけでなく、共有によって認め合わせる。

深い学びにつながる三つの発問は！！

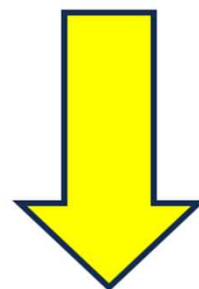
- 別の言葉に言い換えてみよう。
例「きれい」ってどんな様子なんだろう。別の言い方をしてみよう。
例「たえ」(比喩)を使って表したら、何と表せるだろう。
- 比べてみよう。関連付けてみよう。
例「きれい」と「美しい」ってどう違うんだろう。
例「何か」と「なにか」って何が違うかな。
例「前」にも同じようなことがあったかな。
- そう考えた根拠と理由は何か。
例「なぜ」「どうして」を互いに言い合ってみよう。
例「なぜ」のあとに「だから」「ゆえに」は、どれだろう。
例「言葉」(根拠)をもとに、なぜそう考えたかを説明しよう。



徳島県教育委員会

すべての教科等にわたる国語力を生かした授業改善の方向性

子どもたちが、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、正確に理解し適切に表現する資質・能力を身に付けることにより、**すべての学習の基盤となる国語力を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。**



新たな取組へ

令和6年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
57	58.1	-1.1

4

番号	徳島(公立)	全国(公立)	比較	無解答率(徳島)
1一【話聞】	62.4	63.2	-0.8	0.4
1二【話聞】	67.1	68.5	-1.4	4.1
1三【情報】	44.3	44.0	+0.3	0.6
1四【話聞】	42.0	44.7	-2.7	12.4<記述>
2一【読む】	38.0	36.3	+1.7	0.8
2二【情報】	73.2	75.2	-2.0	0.8
2三【読む】	65.1	64.5	+0.6	0.9
2四【読む】	40.5	42.6	-2.1	13.3<記述>
3一【書く】	79.3	81.4	-2.1	1.0
3二【言葉】	50.3	53.8	-3.5	1.4
3三【言葉】	69.7	68.8	+0.9	9.4
3四【書く】	42.9	49.3	-6.4	20.9<記述>
4一【言葉】	54.6	54.9	-0.3	1.9
4二【読む】	49.5	48.3	+1.2	3.8
4三【我国】	79.2	75.6	+3.6	2.5

令和5年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
68	69.8	-1.8

5

番号	徳島	全国	比較	無解答率(徳島)
1一	86.0	87.5	-1.5	0.1
1二	67.3	65.1	+2.2	0.1
1三	77.5	76.6	+0.9	0.3
1四	78.8	82.5	-3.7	15.2
2一	90.1	91.1	-1.0	0.2
2二	61.9	63.0	-1.1	0.6
2三	72.0	74.2	-2.2	0.5
2四	63.9	67.5	-3.6	5.9
3一	52.0	54.3	-2.3	1.3
3二	43.1	43.9	-0.8	11.5
3三	56.8	61.8	-5.0	3.4
3四	66.5	72.1	-5.6	14.5
4一	89.0	82.5	+6.5	3.9
4二	72.4	74.1	-1.7	5.8
4三	43.3	50.0	-6.7	27.2

令和6年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語結果

徳島	全国	比較
57	58.1	-1.1

令和5年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語結果

徳島	全国	比較
68	69.8	-1.8

令和4年度 全国学力・学習状況調査 中学校国語結果

徳島	全国	比較
71	69.0	+2.0

今年度の課題等〔知識及び技能〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

言葉の特徴や使い方に関する事項

◆ 文の成分の順序や照応について理解することに課題がある。

〔3二〕【徳島…50.3%】 ※全国比－3.5%

我が国の言語文化に関する事項

◇ 行書の特徴を理解することについてはできている。

〔4三〕【徳島…79.2%】 *全国比＋3.6%

今年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

話すこと・聞くこと

- ◆ 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。

〔1四〕【徳島…42.0%】 ※全国比－2.7%

※ 「話すこと・聞くこと」に関する問題は3問あったが、
すべて全国に比べてマイナスであった。

今年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

書くこと

- ◆ 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。

〔3四〕【徳島…42.9%】 ※全国比－6.4% (最大)

※ 昨年度も、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことについては、課題があった。〔3四〕※全国比－5.6%

今年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

10

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

読むこと

- ◆ 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。〔2一〕【徳島…38.0%】 *全国比+1.7%
※今回の問題で、唯一正答率が40%を下回った問題
- ◆ 目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題がある。〔2四〕【徳島…40.5%】 ※全国比-2.1%

1 話し合いをする(「フィルターバブル現象」)

藤田さん 私は、この前、インターネットで和菓子作りの本を探して購入しました。そのあと、インターネットを利用するたびに、和菓子作りに関する本が表示されるようになって、次に読みたい本もすぐに見付けました。

今井さん たくさんの本がある中で、自分の好みに合った本を選んで示してくれるのは、便利ですね。でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは思いませんか。

藤田さん そうですね。言われてみれば、和菓子作りに関する本がたくさん表示されていたので、最近、それ以外の本の情報にあまり触れていなかった気がします。「図」のこのあたりにいるような感覚ですね。今井さんは、ふだんどうやって本を選んでいるのですか。

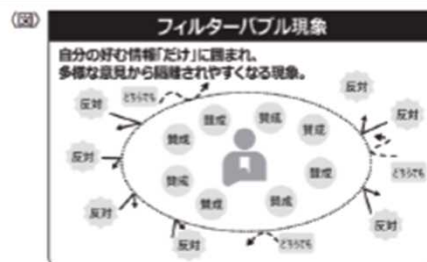
今井さん 私は、図書館や書店で本を選んでみます。読みたい本を見付けるのには時間がかかりますが、本棚を眺めると、思いがけない本との出会いがあって興味が広がると感じています。

藤田さん 図書館や書店でいろいろな本棚を眺めながら本を選ぶと、時間はかかっても、情報が偏るような状態にはならないでしょうね。

山岡さん そういえば、インターネットでも様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページがありますよ。そこで紹介されている本は、本を探している側の好みによって選ばれているわけではないので、フィルターバブル現象の影響は受けにくいのではないのでしょうか。

今井さん そのような本の選び方は、学校図書館で、おすすめの本のコーナーから本を選ぶことと似ていますね。おすすめの本には、その本をすすめる人の好みや考えが反映されているので、自分とは異なる価値観に触れることもできますね。

山岡さん フィルターバブル現象のことを意識すると、本の選び方についても改めて考えてみる必要があると感じました。皆さんは、これからどのように本を選ぶと思いますか。



(文部科学省ウェブページによる。一部改変。)

〈解説〉

インターネットで検索したり閲覧したりした履歴が、使用した通信機器などに記憶され、解析されることで、その利用者の好む情報が優先的に表示されるようになる。一方で、好まないと判断された情報は、はじかれてしまう。このような、情報の偏りが生じたり多様な意見に触れにくくなったりする状態のことを「フィルターバブル現象」という。

例えば、野球についての検索を多くしていると、次第に野球に関する情報が優先的に表示されるようになる。

山岡さん 皆さんは、【フィルターバブル現象の資料】にあるような経験がありますか。

今井さん 私の兄は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、興味している将棋に関する本の表示が多くなったと言っていました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。

山岡さん 〈解説〉の例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、話題を「フィルターバブル現象と本の選び方」にして話し合ってみませんか。

今井さん 身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。

山岡さんたちは、国語の時間に、「フィルターバブル現象の資料」をもとに、グループで話題を決めて話し合っています。あとの問いに答えなさい。

1 話合いをする(「フィルターバブル現象」)

—【話し合いの一部】の——線部①「でも、他の本の情報に触れにくくなっているとは感じませんでしたか。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- ① 藤田さんの経験が、【フィルターバブル現象】の内容に当てはまるのかどうかを確認しようとしている。
(63・5%)
- 2 藤田さんの経験が、【フィルターバブル現象】の内容とは関係していないことを明らかにしようとしている。
(4・0%)
- 3 藤田さんの経験をもとに、【フィルターバブル現象】の内容に反対する意見を述べようとしている。
(28・0%)
- 4 藤田さんの経験をもとに、【フィルターバブル現象】の内容に誤りがあることを指摘しようとしている。
(4・0%)

必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる。

▼「第一学年」思考力、判断力、表現力等
A 話すこと・聞くこと E
《構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有
(聞くこと)》

1 話し合いをする(「フィルターバブル現象」)

四 【話し合いの一部】の山岡さんの最後の発言を受けて、あなたならどのような考えを述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、実際に話すように書きなさい。

条件1 フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書くこと。

条件2 【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのが分かるように書くこと。

■ 正答の条件 ■

① フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書いている。

② 【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのが分かるように書いている。

③ 実際に話すように書いている。

話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

▼「第一学年」思考力、判断力、表現力等
A 話すこと・聞くこと 才
《話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有
(話し合うこと)》

無解答率
12.4%

1 四の解答例

■ 正答の条件 ■

- ① フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのようなように本を選びたいかを具体的に書いている。
- ② 【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのが分かるように書いている。
- ③ 実際に話すように書いている。

〔解答類型1〕

① ○ ② ○ ③ ○ (正答) 45・1%

〈例〉

・ 山岡さんの発言にあった、様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページを利用してみたいと思います。自分とは異なる価値観に意識して触れ、多様な意見に触れにくい状態に陥らないようにすることが大切だと思いました。

・ 今井さんが言うように、フィルターバブルには好みに合った本を選んで示してくれるという便利な面もあるし、藤田さんが言うように、それ以外の本に出合いにくくなることもあるので、本を選ぶときには、インターネットと図書館などを使い分けたいと思います。

1 話し合いをする(「フィルターバブル現象」)

〔解答類型3〕

〈例〉

- ・ フィルターバブル現象の特徴は、自分の好む情報だけに囲まれて多様な意見に触れにくくなることなので、そうならないように図書館などで本を選びたいと思います。

自分の考えが、【話し合いの一部】の誰の発言と結び付くのが分かるように書くことができていない。

〔解答類型4〕

〈例〉

- ・ 山岡さんが話してくれた、様々な人がおすすめの本を紹介しているウェブページを利用して本を選んでみたいと思いました。

フィルターバブル現象の特徴を取り上げて書くことができていない。

- ・ フィルターバブル現象は、「その利用者の好む情報が優先的に表示されるようになる」ということなので、自分の好きなものがすぐ見られるのは便利だけれど、今井さんのような思いがけない本との出会いはなくなってしまうので、そういう点では困ると思います。

これからどのように本を選びたいかを具体的に書くことができていない。

学習指導に当たって

(報告書p.28)

話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。

- ・ 話し合いを通して、考えを広げたり深めたりするには、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることが必要。



- ・ 話し合いの目的や話題を意識し、話し合いがどのような段階にあるのかを捉えながら話したり聞いたりできるように指導する。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

一口に植物といっても、世の中には多種多様なものがあります。木でも草でもよいのですが、そのなかから好きなものを片端から思い浮かべて、それぞれの葉の形を一言で表してみてください。どのような言葉があがってくるでしょうか。

「楕円形の」「薄い」「先のとがった」「平べったい」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのある」「厚ばったい」「針のよう」「手のひらのような」「手のひらのような」……。それこそさまざまな形容があるでしょう（図）。

では次に、それらの言葉を2つのグループに分けるとしたら、どのように分けられるでしょうか。もちろん、言葉を2つのグループに分けるやり方はいろいろあるので、何が正解、というわけではありません。自由に考えてみてください。

① 今、問題となっているのは「形」ですから、二次元的（平面的）な形容と、三次元的な（厚み方向の）形容に分けることはできそうです。つまり、先ほど挙げた例であれば「楕円形の」「先のとがった」「丸い」「細かく裂けた」「細長い」「ギザギザのある」「針のよう」「手のひらのような」は平面的な形容で、「薄い」「平べったい」「厚ばったい」は厚み方向の形容です。こうして見ると、平面的な形容のほうは数も多くてバラエティーに富んでいるのに対して、厚み方向の形容は、きわめて限定されている感じがします。しかも、「薄い」と「厚ばったい」という正反対の言葉が入っているのが気になります。

しかし、考えてみると、誰も「サイコロが厚ばったい」とは言いません。「厚ばったい」も「薄い」も、平たい物質の形容であって、その形の本質は「平たい」ことにあるわけです。平たいもののなかには、平均的なものより厚いもの、薄いものがある。薄くても、その程度の差が形容の差を生み出しているのでしょうか。つまり、植物の葉の、三次元的な厚み方向の形の本質は「平たい」というひとつの共通の概念にまとめられることができます。といった途端、ネギの葉はどうなんだ、という突っ込みが入りました。たしかに長ネギの葉は丸くなっています。これはどう考えたらよいのでしょうか。

八百屋さんから長ネギを買ってきてよく観察すると、白い部分は何層にもなっていて中まで詰まっているので、実際の立体的な形は円柱です。しかし、緑色の部分はほぼ一層で、中は空っぽですから、実際の形は円盤形です。葉としての役割を果たす緑色の部分は、外側一層しかなくて、丸く湾曲しているものの、ネギも平たいといえるでしょう。やはり、二次元的な形は「平たい」という一言に集約できそうです。

一方で、葉の形の、二次元的、平面的な形容は本当に多種多様です。三次元的な形は「平たい」という共通性、普遍性を示すのに対して、二次元的な形は、植物によって異なり、多様性を示すことがわかります。

この「普遍性」と「多様性」には、生き物の研究をしていくと、なにかにつけてぶつかります。生物学とは違って、数学や物理学、それに化学の一部は、普遍性の学問です。1+1は誰にとっても2ですし、鉄がたまに金の性質を示す、というようなことはありません。鉄は鉄、金は金です。酸素と水素が反応してできるのは水であって、たまには水ではなくて油ができてよいだろう、などといったら化学者に怒られます。

しかし、生き物を扱っていると、そのように単純には物事が進みません。植物の葉は常に緑色であるといいたいところですが、ミミジは秋になると紅葉しますし、園芸店に行けばいくつでも白や黄色の斑入りの葉、あるいは紫色が鮮やかな葉を見つけることができます。植物は光合成で生きています、といった途端に、ナンバンギセルなどの寄生植物は違うだろうという突っ込みが入ります。植物の多くが緑色の葉をもって光合成をしているのは事実であって、それは植物の本質的な生き方を反映しているのですが、その本質にさえ、例外があります。ましてや、葉の平面的な形は、植物の種類ごとに違えば、多様性の宝庫なのです。

2 説明的な文章を読む（「葉の形」）

園池公毅『植物の形には意味がある』による



図 さまざまな形の葉

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「ノートの一部」と【物語の下書き】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

ノートの一部

（登場人物の設定）

- ・「僕」……紙の辞書、語り手。
- ・「君」……紙の辞書の持ち主（中学生）。

（もとにする体験）

- ・小学生のとき、紙の辞書を机に置やすらわなかった。
- ・使い始めた頃、紙の辞書の引き方が難しくて困った。
- ・最近はおんらいん辞書ばかり使っている。
- ・紙の辞書を久しぶりに使った。

（物語を通して伝えたいこと）

- 紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさ。

（各場面では伝えた「僕」の心情）

- ① 出番のない寂しさ。
- ② 忘れられるかもしれない不安。
- ③ 久しぶりの出番で感じた喜び。
- ④ 次の出番への期待。

【物語の下書き】

① あの日も僕は、君の部屋の本棚の隅でじっと待っていた。ほこりだらけになりながら。中学生になってから、君はオンライン辞書を使うようになった。以前はよく、印を付けたリ、書き込みをしたりしてくれたのに。君との距離は、ずいぶん遠くなってしまった。

② インターネットだと、複数の辞書にアクセスできるから、タブレット端末だけを持ち運べばよい。単語さえ入力すれば、すぐに知りたいことを教えてくれるし、かさばらないし。君にとっては、とても便利なのだろう。僕なんて、このまま忘れられてしまうのかな。

③ そう考えていたとき、君は僕を手を取った。学校にタブレットを置いてきたのだろうか。久しぶりだったから、僕はびっくりし、君はほこりで大きくしゃみをした。ほこりだらけの僕に顔をしかめたけれど、何度かページを繰っては、いろいろな言葉の意味を調べていた。当然、いつもよりは時間がかかっている。調べなければならぬ言葉だけでなく、近くにある言葉にも線を引き、意味を確認する君。意味調べが終わっても、君は僕をいつもの場所に戻さなかった。しばらくページを繰り、小学生のときに印を付けた言葉や書き込んだ言葉を読み返していた。君は「あたり」の表情をしていた。僕は自分が認められたような気がした。

④ あの日から数日が過ぎた。

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

二 佐藤さんは、【物語の下書き】の波線部「すぐに知りたいことを教えてくれるし」について、語句の係り方がいまいであることに気づき、「知りたいことをすぐに教えてくれるし」のように「すぐに」の位置を直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 「すぐに」という主語と、それを受ける「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。
(11・2%)

2 「すぐに」という修飾語と、修飾される「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。
(54・2%)

3 「知りたいことを」という修飾部と、修飾される「すぐに」という部分の関係を明確にしようとした。
(14・2%)

4 「知りたいことを」という主部と、それを受ける「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。
(19・3%)

文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる。

▼「第二学年」知識及び技能
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 才《文や文章》

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

■ 小学校 ■

オ その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけ
ることがむずかしい場合もあるでしょう。

Q. 「すぐに」はどの言葉を詳しくしていますか。

A. 3 かたづけ（43・8％）

主語と述語との関係、修飾語と被修飾語との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 力《文や文章》
▼小学校第三学年及び第四学年 知識及び技能

■ 中学校 ■

〈修正前〉 「すぐに知りたいことを教えてくれるし」

←

〈修正後〉 「知りたいことをすぐに教えてくれるし」

Q. 語句の係り方があいまいだから直した。その意図は。

A. 2 「すぐに」という修飾語と、修飾される「教えてくれるし」という部分の関係を明確にしようとした。（54・2％）

単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 力《文や文章》
▼中学校第二学年 知識及び技能

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

四 佐藤さんは、【物語の下書き】の の部分で、

【ノートの一部】の④の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

■ 正答の条件 ■

① アに、「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。

② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるとかどうかをみる。

▼「第二学年」思考力、判断力、表現力等

B 書くこと ウ
《考えの形成、記述》

無解答率
20.9%

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

3 四の解答例

■ 正答の条件 ■

- ① アに、「あの日から数日が過ぎた。」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。
- ② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

〔解答類型1〕

① ○ ② ○（正答） 49・8%

〈例〉

- ・ ア （あの日から数日が過ぎた。）窓から差し込む光を浴びながら、今日も僕はいつもの場所で君を待っている。
- イ 「窓から差し込む光を浴びながら」のように情景を描写することで、「僕」の期待感が印象的に伝わる。
- ・ ア （あの日から数日が過ぎた。）でも、君との距離は、もう遠くない。
- イ 1の場面の表現と似た表現を用いることで、「寂しさ」から「期待」に変化した「僕」の心情が分かりやすく伝わる効果がある。

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるとかどうかをみる。

▼「第二学年」思考力、判断力、表現力等

B 書くこと ウ
《考えの形成、記述》

無解答率
20.9%

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

■ 正答の条件 ■

- ① アに、「あの日から数日が過ぎた」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。
- ② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

〔解答類型2〕

① ○

② ×

26・1%

〈例〉

- ・ ア （あの日から数日が過ぎた。）僕はまた本棚にしまわれた。でも、今度は君と近い距離。また使われる日を待っている。

イ 久しぶりに使ったよさに「君」が気づき、「僕」を近くに置いてくれたことを表現した。

自分が工夫した表現について、どのような効果があるのかを書くことができていない。

- ・ ア （あの日から数日が過ぎた。）僕は次の出番を待っている。また見たいから、君の満ちたりた表情を。

イ 二文目で倒置法を用いて、「君」の満ちたりた表情を強調した。

自分が工夫した表現について、「僕」の「次の出番への期待」とは別のことを伝える効果があると書いている。

3 物語を創作する（「紙の辞書」）

■ 正答の条件 ■

- ① アに、「あの日から数日が過ぎた」に適切に続くように、表現を工夫して物語の最後の場面を書いている。
- ② イに、アのように表現することで、「僕」の次の出番への期待を伝える上で、どのような効果があるのかを具体的に書いている。

〔解答類型2〕

① ○

② ×

26・1%

〈例〉

- ・ ア （あの日から数日が過ぎた。）僕はまた本棚にしまわれた。でも、今度は君と近い距離。また使われる日を待っている。

イ 久しぶりに使ったよさに「君」が気づき、
「僕」を近くは置いてくれたことを表現した。

二文目で心の距離が近くなったことを表現し、また使ってもらえることに対する期待感を伝えている。

- ・ ア （あの日から数日が過ぎた。）僕は次の出番を待っている。また見たいから、君の満ちたりた表情を。

イ 二文目で倒置法を用いて、「君」の満ちたりた表情を強調した。

倒置法を用いて、君の満ち足りた表情を見ることを表現することで、次の出番への期待を強調している。

学習指導に当たって

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。

- ・ 自分の考えがよく伝わる文章を書くには、表現の効果を考えて描写するなど、工夫して書くことが必要。



- ・ 自分が伝えたいことを明確にし、効果を考えながら工夫して記述したり、伝えたいことが読み手に伝わっているかを確かめて推敲したりすることができるように指導する。

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く

◎ 自分の考えが伝わる文章にするために
具体例を示す際の留意点

① 伝えたい自分の考えを明らかにする
・ 題材について考えたことを書き出してみよう。
・ 考えたことの中から伝えたいことを精選する。

② 考えを支える根拠となる具体例を選ぶ
・ 考えとのつながりが明確な具体例を選ぶ。
・ 示す具体例の数や順番を検討する。

③ 文章の中に自分の考えと根拠を書く
・ 自分の考えと、考えを支える具体例を書く。
・ 示した具体例から、なぜその考えが導き出せるのかが分かるように説明を書く。

（報告書P. 60）

☆「思考ツール」を使うことも考えられます
【イメージマップ・フィッシュボーン・キャンディチャート等…】

4 短歌を紹介する（「月と風景」）

二 田中さんは、AからCまでの短歌によまれている情景の時間帯が異なることに気付きました。——線部①、②、③に着目して、夕方から翌朝へという時間の流れに沿って順番に並べ替えるのとどのようになりますか。A、B、Cを適切に並べ替えて書きなさい。

A まどかなる黄月はいま昇りつつ

ひとたび暮れし雪野を照らす

B 風さやか庭に月待つ萩すすき

蛸^②の声やみし夕暮れ

C 朝光のひろびろしきに

昨の夜のつきかげありしあたりを掃きぬ^③

○〔解答類型3〕

B ↓ A ↓ C 48・5%

〔解答類型6〕

C ↓ B ↓ A 23・7%

短歌の内容について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。

▼「第一学年」思考力、判断力、表現力等
C 読むこと イ《構造と内容の把握》

4 短歌を紹介する（「月と風景」）

三 田中さんは、短歌を紹介するための資料の中に、テーマである「月と風景」を行書で書きました。次のアからエまでの部分の書き方について説明したものととして最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

1

アの部分は、楷書とは異なり点画を連続して書いている。

2

イの部分は、楷書とは異なり点画を直線的に書いている。

3

ウの部分は、楷書と同様に終筆を止めて書いている。

4

エの部分は、楷書と同様に点画を省略して書いている。



行書の特徴を理解しているかどうかをみる。

▼「第一学年」知識及び技能

(3)我が国の言語文化に関する事項 エ(イ)

《書写》

徳島79.2%（全国比+3.6%）

中学校国語科における授業づくりについての チェックポイント例

- 国語科の年間指導計画について、どの時期にどの指導事項を指導するのかを意識して作成している。
- 全国学力・学習状況調査の結果等を基に、どの指導事項の定着に課題があるのかを明らかにし、指導計画等に反映させている。
- それぞれの指導事項を指導するために、教材を適切に取上げ、効果的な言語活動を設定した授業を構想している。
- 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』等を参考に、評価規準を設定している。
- 評価方法が明らかであり、効率的に評価するための工夫が考えられている。
- それぞれの評価規準について、「努力を要する」状況の生徒への手立てが考えられている。

「全国の課題」→「自治体としての課題」
→「学校としての課題」→「個別の課題」



生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実を図っていきましょう

- ・ 示された文章等から情報を読み取る力



- ・ 自分の考えを形成するために大量の情報を取捨選択したり、視覚的に情報を読み取ったりすることで

→ 情報を活用したり、解釈したりする力

読解力の定義

【読解力の定義】

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

※下線部は2018年調査からの定義変更箇所

- コンピュータ使用型に移行し、デジタルテキストを踏まえた設計となったため、「書かれたテキスト」から「テキスト」に変更。（デジタルテキスト：オンライン上の多様な形式を用いたテキスト（Webサイト、投稿文、電子メールなど））
- 議論の信ぴょう性や著者の視点を検討する能力を把握するため、テキストを「評価する」という用語を追加。

測定する能力

①情報を探し出す

- －テキスト中の情報にアクセスし、取り出す
- －関連するテキストを探索し、選び出す

②理解する

- －字句の意味を理解する
- －統合し、推論を創出する

③評価し、熟考する

- －質と信ぴょう性を評価する
- －内容と形式について熟考する
- －矛盾を見つけて対処する

（下線部は、2018年調査から新たに定義に追加された要素）

読解力の調査結果の分析

- 読解力の平均得点の低下に影響を与える要因について分析したところ、生徒側（関心・意欲、自由記述の解答状況、課題文の内容に関する既存知識・経験、コンピュータ画面上での長文読解の慣れ等）、問題側（構成、テーマ、テキストの種類、翻訳の影響等）に関する事項などの様々な要因が複合的に影響している可能性があると考えられる。
- 読解力を測定する3つの能力について、それらの平均得点が比較可能な2000年、2009年及び2018年（読解力が中心分野の回）の調査結果を踏まえると、
 - ・「②理解する」能力については、その平均得点が安定的に高い。
 - ・「①情報を探し出す」能力については、2009年調査結果と比較すると、その平均得点が低下。特に、習熟度レベル5以上の高得点層の割合がOECD平均と同程度まで少なくなっている。
 - ・「③評価し、熟考する」能力については、2009年調査結果と比較すると、平均得点が低下。特に、2018年調査から、「質と信ぴょう性を評価する」「矛盾を見つけて対処する」が定義に追加され、これらを問う問題の正答率が低かった。
- また、各問題の解答状況を分析したところ、自由記述形式の問題において、自分の考えを根拠を示して説明することに、引き続き課題がある。誤答には、自分の考えを他者に伝わるように記述できず、問題文からの語句の引用のみで説明が不十分な解答となるなどの傾向が見られる。

「徳島版読解力」は、

「国語力 タスク フォースの提案」を ブラッシュアップ したもの

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★全ての教科等での取組
- ★学習方法・ツールの工夫
- ★授業、授業外での繰り返し

導入（個別学習）

- A 情報を正確に捉える
- B 読み取り、考えたことを書き表す

展開（協働学習）

- C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ
- D 交流を生かして考えを表現する

振り返り（個別学習）

- E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

〔授業外〕

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

徳島県教育委員会

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

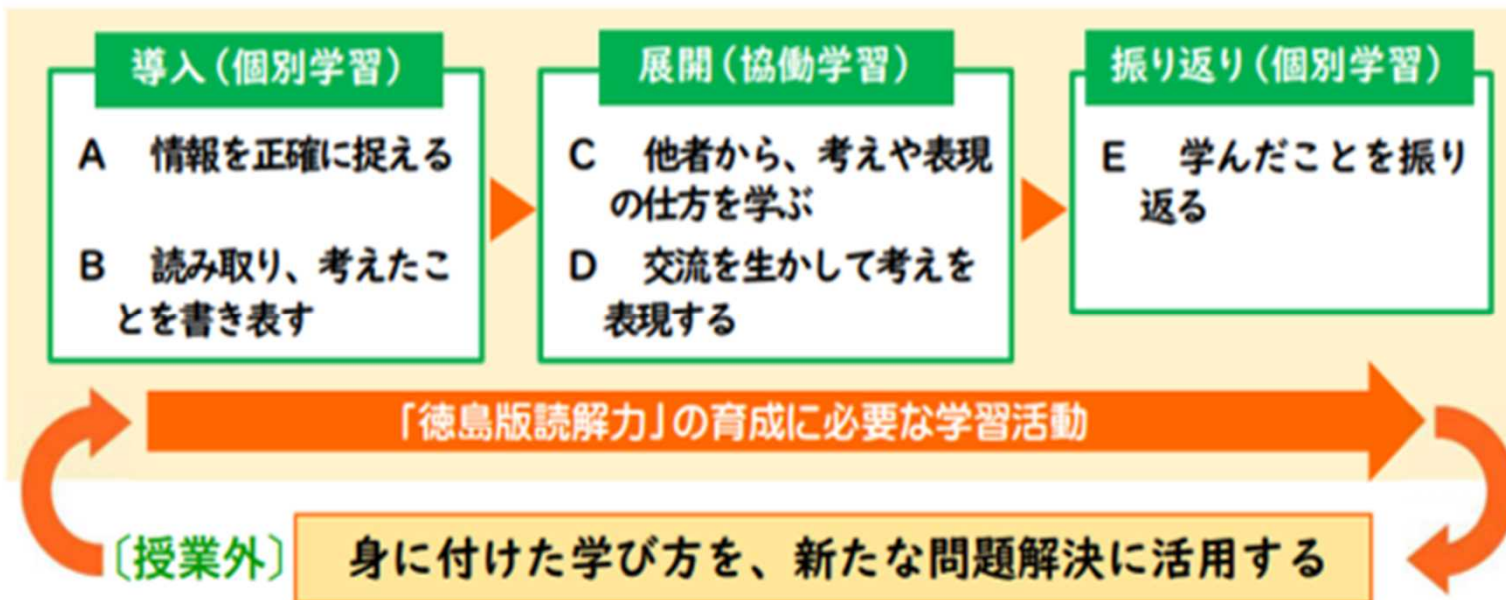


「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面〔A～E〕において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し



5つの力、A～Eの活動の土台となるのが、「主体的に学習に取り組む態度」である。

学 習 場 面		学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例		
授 業	導 入 (個 別 学 習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。 ○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。 ○心に残る表現や大事だと思うところを探す。 ○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と考えを区別したりする。 ○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。 ○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。 ○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。	1・4 1 1 2 3・4 1・2 3 2	【音読、黙読、視写、聴写】 【傍線や下線を引く】 【丸や四角で囲む】 【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【辞典、事典】	【インターネット】	
		B 読み取り、考えたことを書き表す	○思いついたことを書き留める。 ○箇条書きにしたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。 ○書き留めたことを見返し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	1・2 3・5 4・5	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】	
		展 開 (協 働 学 習)	C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。 ○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や応答をする。 ○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。 ○他者と協力して問題を解決する。	1 2 3 4 5	【相互評価、コメント】 【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス)、スピーチ】 【ポスターセッション】 【質問、応答】 【図、表、思考ツール】	【チャット】 【学習支援クラウドアプリ】
			D 交流を生かして考えを表現する	○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。 ○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。 ○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。	1・2 4・5 2・3	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】
			(振 個 り 別 返 学 習)	E 学んだことを振り返る	○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを見直し、表現する。 ○学習活動の達成感だけでなく、学んだことや考えたことと記録に残す。 ○新たに生じた疑問や、次に向けての目標を書き留める。 ○個々の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。	3・4 5 2・4 3・5 4・5	【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】 【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】
	授 業 外	身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する	○興味・関心のあることや、予習・復習で芽生えた疑問に関係する情報を集める。 ○読書や会話を通して、生活の中で出会う様々な問題に関心を持ち、語彙力を高める。 ○集めた情報を読んだり、心に留まったことを記録したりする。	1・3 4 1 2・3	【書籍】 【家族や友達などの他者】 【書籍】 【会話】 【自主学習ノート】	【インターネット】 【メモ・付箋機能】 【学習支援クラウドアプリ】	
			○学習したツール等を使って、多様なメディアに触れ、見たり、読んだり、聞いたり、表現したりする。	2・5	【書籍】 【新聞】		

学 習 場 面		学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例
授 業	導 入 (個 別 学 習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。1・4 ○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。1 ○心に残る表現や大事だと思うところを探す。1 ○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と考えを区別したりする。2 ○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。3・4 ○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。1・2 ○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。3 ○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。2	【音読、黙読、視写、聴写】 【傍線や下線を引く】 【丸や四角で囲む】 【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【辞典、事典】	【インターネット】
		B 読み取り、考えたことを書き表す	○思いついたことを書き留める。1・2 ○箇条書きにしたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。3・5 ○書き留めたことを見返し、付け足したり、削ったりして、推敲する。4・5	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】
	展 開 (協 働 学 習)	C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。1 ○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や応答をする。2 ○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。3 ○他者と協力して問題を解決する。4・5	【相互評価、コメント】 【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス)、スピーチ】 【ポスターセッション】 【質問、応答】 【図、表、思考ツール】	【チャット】 【学習支援クラウドアプリ】
		D 交流を生かして考えを表現する	○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。1・2 ○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。4・5 ○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。2・3	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】
	(振個別返学習)	E 学んだことを振り返る	○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを見直し、表現する。3・4 ○学習活動の達成感だけでなく、学んだことや考えたことも記録に残す。5 ○新たなもった疑問や、次に向けての目標を書き留める。2・4 ○個々の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。3・5 ○個々の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。4・5	【線でつなぐ】 【図・表・思考ツール】 【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】	【メモ・付箋機能】 【画像、動画】 【学習支援クラウドアプリ】

(1) 学習の基盤となる資質・能力 (第1章第2の2の(1))

(1) 各学校においては、生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

本項は、生徒の日々の学習や生涯にわたる学びの基盤となる資質・能力を、生徒の発達の段階を考慮し、それぞれの教科等の役割を明確にしながら、教科等横断的な視点で育んでいくことができるよう、教育課程の編成を図ることを示している。学習の基盤となる資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を挙げている。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

1一

2一

4二

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

2四

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

1四

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

2四

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

1四

3四

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにする。

【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。



主体的な学び
対話的な学び
深い学び



学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。



【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

資質・能力の育成のための授業改善の視点

国語科、そしてすべての教科等において「徳島版読解力」の育成を目指しましょう！



すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

多様で複雑な現代の社会を生きていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

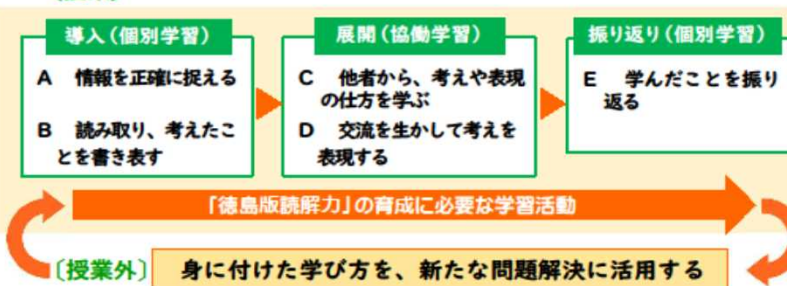


「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

〔授業〕

- ★ 全ての教科等での取組
- ★ 学習方法・ツールの工夫
- ★ 授業、授業外での繰り返し



徳島県教育委員会